

シイタケ菌系体培養培地抽出物 LEM の投与による 子宮体癌術後再発予防効果についての検討

The preventive effect of LEM (The extract from the cultured solid medium of *Lentinus edodes* mycelia) on the recurrence of endometrial carcinoma

小濱 隆文

恵寿総合病院 産婦人科

We treated 13 patients of Endometrial Carcinoma, which stage is from Ib to IIb, with LEM (The extract from the cultured solid medium of *Lentinus edodes* mycelia). During the period(22.5±13.5 months) of the treatment with LEM after radical surgery, there were no findings of recurrence of carcinoma, which indicates that LEM has the potential effect of preventing recurrence of endometrial carcinoma.

[目的] 婦人科系悪性腫瘍の中で、子宮体癌は卵巣癌と並び近年増加傾向にある。治療法は手術が中心で、併せて放射線療法、化学療法、ホルモン療法などが行われているが副作用も強く、特に再発後の治療法に関しては、効果の期待できる治療法は極めて少ない。シイタケ菌系体培養培地抽出物 (LEM) は、抗ガン作用、免疫調節作用、抗ウイルス作用や肝炎に対する治療効果(B 型・C 型)など多彩な作用を有することが知られており、副作用も極めてすくない。今回、子宮体癌患者に対し術後より LEM を摂取させ、再発の有無を中心に経過観察した。

[方法] 対象は、当院で診断された子宮体癌患者 13 例で、年齢 61.2±11.4 (平均±標準偏差) 歳、術後 stage は Ib から IIb で組織型は全て Endometrial Carcinoma (内、リンパ節転移 2 例) であった。広汎子宮全摘出術後、carboplatin +endoxan+adriamycin を monthly 投与法にて 3 クール施行後退院、退院後は他の化学・ホルモン療法は施行しなかった。LEM は術後 2 週間目より 6g/日 (3g×2 回) 連日摂取させた。退院後は、膣断端部スミア、腫瘍マーカー、超音波および CT-scan にて再発の有無を 2 ヶ月おき、さらに再発兆候が認められた際は、1 ヶ月ごとに確認した。

[結果] 現時点の LEM 投与期間は、22.5±13.5 ヶ月間で、12 例においては再発兆候は認められていない。また、退院後 3 ヶ月後に CA-199 の上昇したものが 1 例あったが、LEM 摂取を 9g/日 (3g×3 回) に増量させたところ、再び下降しはじめた。

[結論] LEM は子宮体癌の術後患者に対し、再発抑制効果を有するものと考えられた。